

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒213-0012

住所 川崎市高津区坂戸3-2-1 K S P 西棟401号

氏名 株式会社 ケイエスピーコミュニティ

代表取締役社長 大貫 誠也 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策等の推進に関する条例第11条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社ケイエスピーコミュニティ		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市高津区坂戸3-2-1 かながわサイエンスパーク 西棟401号		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の種類	大分類	K	不動産業, 物品賃貸業
	中分類	69	不動産賃貸業・管理業
主たる事業 の内容	不動産管理		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	3,217	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO <sub>2</sub>
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	2022 年度 ～ 2024 年度 (報告年度 2024 年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況(第1、2、4号該当者等)

(1) 計画期間における温室効果ガスの排出の量等の状況

ア 温室効果ガスの排出の量

	基準年度		第1年度		第2年度		第3年度		目標排出量
	(2021年度)		(2022年度)		(2023年度)		(2024年度)		
排出量 (t-CO2)	(実) 5,933 (調) 5,899	(実) 5,854 (調) 5,846	(実) 5,658 (調) 5,148	(実) 5,320 (調) 5,320	(実) 5,755 (調) 5,724				
削減率			(実) 1.3% (調) 0.9%	(実) 4.6% (調) 12.7%	(実) 10.3% (調) 9.8%	(実) 3.0% (調) 3.0%			

イ 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値(任意記載)

原単位等の活動量					原単位等の単位		目標とした値	
	基準年度		第1年度		第2年度			第3年度
	(2021年度)		(2022年度)		(2023年度)		(2024年度)	
排出量原単位等の値								
活動量の値								-
排出量原単位等の削減率			%	%	%	%	%	%

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況等についての説明

第1年度	照明器具LED化、高効率変圧器への更新などにより、基準年度比1.3%削減となった。	
第2年度	夏の電力需要逼迫状況に対応して必要度の低い機器の停止等を行ったり、照明器具LED化、高効率変圧器への更新をさらに進めた結果、基準年度比4.6%削減と大幅な削減を達成できた。	
第3年度	夏の猛暑の影響による冷水使用量、ホテルの稼働率の上昇による蒸気使用量が増えているにもかかわらず、照明器具LED化、空調機更新、高効率変圧器への更新を一段と進めた結果、電気使用量の削減効果が大きく基準年度比10.3%削減と大幅な削減を達成できた。	
計画期間における排出量増減等の評価 (第3年度の報告時に記載)		設備更新を行ったことによる電気使用量の削減が排出量削減に大きく貢献し、目標排出量を大きく超えた排出量削減を達成することができた。
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)		まだ更新されていない設備更新をさらに進めていくことが排出量削減に重要であると考えます。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況(全社目標)(任意記載)

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況

(1) 措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない装置を実施した場合は、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

<p>計 画</p>	<p>(1) 照明設備のLED化：蛍光灯器具のLED化(2022年度2500台、2023年度1428台、2024年度以降計画)。                  (2) 空調設備の更新：空室フロアを中心とした空調設備の更新(2022年度空調機10台、ファンコイルユニット73台、2023年度空調機8台、ファンコイルユニット48台、2024年度以降計画)。                  (3) 受変電設備の更新：トッランナー変圧器への更新など受変電設備の更新(2022年度7台、2023年度8台、2023年度以降計画)。                  (4) エレベーターの更新：各棟エレベーター順次更新(2022年度5台にて完了)                  (5) 衛生設備の更新：トイレ設備更新(2023年度22箇所、2024年度以降計画)                  (6) 推進体制の整備：入居テナントへの省エネ協力依頼文書配付と管理関係者による省エネ会議を開催し温暖化対策の意識向上、情報共有を進めていく。</p>
<p>第1年度</p>	<p>(1) 照明設備のLED化：蛍光灯器具のLED化(削減効果39t-CO2/年)。                  (2) 空調設備の更新：空室フロアを中心とした空調設備の更新(削減効果5t-CO2/年)。                  (3) 受変電設備の更新：トッランナー変圧器への更新など受変電設備の更新(削減効果15t-CO2/年)。                  (4) エレベーターの更新：各棟エレベーター順次更新(削減効果5t-CO2/年)。                  (5) 推進体制の整備：入居テナントへの省エネ協力依頼文書配付と管理関係者による省エネ会議を開催し温暖化対策の意識向上、情報共有に努めた(削減効果5t-CO2/年)。</p>
<p>第2年度</p>	<p>(1) 照明設備のLED化：蛍光灯器具のLED化(削減効果125t-CO2/年)。                  (2) 空調設備の更新：空室フロアを中心とした空調設備の更新(削減効果16t-CO2/年)。                  (3) 受変電設備の更新：トッランナー変圧器への更新など受変電設備の更新(削減効果48t-CO2/年)。                  (4) エレベーターの更新：各棟エレベーター順次更新(削減効果5t-CO2/年)。                  (5) 衛生設備の更新：トイレ設備更新(削減効果10t-CO2/年)                  (6) 推進体制の整備：入居テナントへの省エネ協力依頼文書配付と管理関係者による省エネ会議を開催し温暖化対策の意識向上、情報共有に努めた(削減効果16t-CO2/年)。</p>
<p>第3年度</p>	<p>(1) 照明設備のLED化：蛍光灯器具のLED化(削減効果325t-CO2/年)。                  (2) 空調設備の更新：空室フロアを中心とした空調設備の更新(削減効果70t-CO2/年)。                  (3) 受変電設備の更新：トッランナー変圧器への更新など受変電設備の更新(削減効果100t-CO2/年)。                  (4) エレベーターの更新：各棟エレベーター順次更新(削減効果10t-CO2/年)。                  (5) 衛生設備の更新：トイレ設備更新(削減効果20t-CO2/年)                  (6) 推進体制の整備：入居テナントへの省エネ協力依頼文書配付と管理関係者による省エネ会議を開催し温暖化対策の意識向上、情報共有に努めた(削減効果35t-CO2/年)。</p>
<p>計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)</p>	<p>設備更新を行ったことによる電気使用量の削減が排出量削減に大きく貢献し、目標排出量を大きく超えた排出量削減を達成することができた。</p>

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 前年度における再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(追加検討を実施した場合は「○」、追加の検討を実施していない場合は「×」を記載してください。また、追加検討を実施した場合はその結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	追加検討の有無	検討結果
太陽光	×	
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他( )	×	
その他( )	×	

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 前年度に実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入状況  
(追加導入がある場合は「○」、追加導入がない場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	追加導入の有無	設備等の種類	追加導入の有無
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム(FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他( )	×
EV、PHV、FCV	×	その他( )	×

4 他者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。)

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	なし

5 その他、地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。)

計 画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空調設定温度の適正化</li> </ul>
第1年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空調設定温度の適正化 空調設備の設定温度を夏場は28℃に冬場は23℃に設定運用した。</li> </ul>
第2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏の電力需要逼迫状況に対応して、必要度の低い機器の停止等を行った。</li> </ul>
第3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏の電力需要逼迫状況に対応して、必要度の低い機器の停止等の再検討を行った。</li> <li>・空調機の必要外気取入量の再検討を行った。</li> </ul>

6 基準年度からのエネルギー起源CO<sub>2</sub>の排出の量等の推移 (1、2号該当者等)

(1) 事業者単位

	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
エネルギー起源 CO <sub>2</sub> 排出量	5,933 t-CO <sub>2</sub>	5,854 t-CO <sub>2</sub>	5,658 t-CO <sub>2</sub>	5,320 t-CO <sub>2</sub>
原油換算エネルギー 使用量	3,501 KL	3,409 KL	3,299 KL	3,217 KL
事業所の数	1	1	1	1

(2) 事業所等単位

ア 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO <sub>2</sub> の排出量 (t-CO <sub>2</sub> )			
		基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
かながわサイエ ンスパーク	川崎市高津区坂戸 3-2-1	5,933	5,854	5,658	5,320

イ 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO <sub>2</sub> の排出量 (t-CO <sub>2</sub> )			
		基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度